

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
工業「実習」(必修科目)	建築設計製図(実教出版) 新版建築実習1・2(実教出版)	2単位	建築科・2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 建築実習における測量器具の機能や操作、測量技術と結果の処理などの知識と技術を深めるとともに、基礎実習で施工技術を学習し、測量との応用を把握する。</p> <p>2 CAD実習による作図や建築物の外観模型を製作することにより、製図技術や表現方法を習得し、創造力を養う。</p>
---------	--

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	1 木材加工1 (1) 道具の基本的な使い方 (2) 切断・組み立て 2 水準測量 (1) 昇降式による水準測量 (2) 器高式による水準測量 (3) 内業	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動レベルで高低差を昇降式で水準測量し野帳の記入方法と各測点の標高の求め方を学習する。 ・セオドライトの構造やすえつけ方法、角度の読みとりなどを学習し、水平角を測量する。 	
		5		
		6		
		7		
2学期	3 木材加工2 (1) 椅子のデザイン (2) 切断・加工・組み立て 4 セオドライト測量 (1) 水平角の測角 (2) 角の測設 5 JWCADの図面作成 (1) JWCADの使用方法 (2) 色の付け方 (3) 木造住宅の平面図作成 (4) 住宅模型の展開図作成	8	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の性質を理解させ、切断方法を習得させる。 ・金槌・鑿・鉋・釘・ペンキなどの使用方法を習得させる。 ・測量器械を使った縄張りや水盛り遣り方の方法を学習する。 ・地盤の強化や布基礎の工法を学習する。 ・CADで木造住宅図面の入力とファイルの取り扱いについて学ぶ。 	
		9		
		10		
		11		
		12		
3学期	6 店舗付き住宅模型の製作	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自由設計した店舗付き住宅の外観模型を製作し、立体的な表現方法やプレゼンテーションの方法を理解する。 	
		2		
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	建築実習の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。	建築実習に関する単元の適切な解決をめざして、みずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	建築実習について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、積極的に学ぶ態度を身につけている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	実際の建築物の測量や施工に応用できるか。また、工程を理解し、作業の安全を確かめ危険防止につとめることができるか。	CADや専門的な知識と技術を活用し、創意工夫しているか。建築物の立体的構成や力の流れについて理解しているか。	集中して作業に取り組み、自主的に理解しようとしているか。また、能率的に作業を進め、提出期限を守れているか。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<p>建築実習の内容を十分に理解し、根気強く丁寧にかつ正確に作業をしなければならない。また、互いに協力し合う態度を養い、社会で求められるいろいろな技術を体験的に理解し身に付けましょう。</p> <p>建築実習では、各テーマごとにレポートや課題作品の提出が必要になります。内容に不足や誤りがないかを確認した上で、期限までに提出することも大切です。</p>
--